

診療所長 今月の二句

平成二十六年三月

陽光や 寓話の如く 衣脱ぎ

お彼岸近くなのに、なかなか暖かくなりません。でも、本来の季節に近い、暖かさを感じた日がありました。寓話とは、もちろん、イソップ寓話の、「北風と太陽」です。

昼のうち 今日こそ消えよ 日蔭雪

大雪は、こりこりです。日蔭には、まだ雪が残っています。雪かきで積み上げたとはいえ、溶けきりません。夜になると、凍ってしまいます。いい加減、消えてほしいと思う傍ら、季節の名残がなくなるのは、寂しい気もします。

